令和４年度　放課後等デイサービス自己評価の集計結果（公表）

事　業　所　名	児童デイサービス ばんぶう

		チェック項目	回答数	① はい	② どちらともいえない	③ いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	1		部屋数（５室）が多い事で、利用者同士の相性や個々の状況に応じて活動場所に配慮している。（その分、職員の目が届かない時がある）	昨年度まで個室をほぼ占有していた利用者が卒業となり、現在は女子利用者の更衣室として使用する事が中心だが、今後の活用方法を検討していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	3	2		個別対応や送迎の添乗など、適切に行えている。	利用者数に対しては適切ではあるが、今年は職員の退職により十分に見守りできない場面も見受けられた為、職員間の連携を強化していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	2		事業所内は段差が殆ど無く、トイレには手すりを設置。 事故防止の観点から床には衝撃緩和マットを敷いている。	玄関は狭く段差もある為、利用者の出入りについては安全面に配慮していく。（車椅子での利用は難しい）
業務改善	④	業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクルに、広く職員が参画しているか	5	4		1	業務改善は常勤職員を中心に行っている。	業務の見直しなど、職員間で都度話し合いを行いながら業務改善に務めていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	5			毎年アンケート調査を実施し、調査結果について全職員で情報共有し、業務改善に繋げている。	
	⑥	自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	5			自己評価表の結果については、ホームページにて毎年公開している。	
	⑦	第３者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	1		苦情・要望・相談、ヒヤリハットや事故、サービス自己評価の内容など、第三者委員会へ年２回報告し助言などを得ている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3	2		感染症の影響もあり外部研修の機会は以前よりも少ないが、オンラインでの参加や動画視聴など工夫している。	パート職員は勤務時間の関係から研修機会が少なく、最近は研修動画の視聴などが中心であるが、研修の時間設定などについて検討していく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	5			保護者との面談や連絡帳、送迎時の報告などの中で情報を得ながら、計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	1	1	事業所独自の様式を使用しているが、利用者の状況把握はできている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	2		個別支援計画に沿った活動の他、職員間で意見交換しながら計画を立て実施している。	
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	5	4	1		利用者個々の課題に対する活動や、季節に応じた制作活動などを取り入れている。	利用者の体調面に配慮しながら、職員間で情報を共有して支援していく。
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	5	4	1		学校の長期休みの際は平日とは異なる活動プログラムを計画して支援している。	個々の能力に応じた活動を提供しているが、集中力の持続が難しく短時間で行える活動が中心となっている為、段階を踏んで調整していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	5	4	1			
	⑮	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	5			毎日の申し送りにおいて、利用者の状況に応じて職員の配置や活動内容を決め、環境を整えている。	今年度からパート職員の出勤時間が変更となり、全職員が一同に打ち合わせを行う事は出来ないが、当日の主要事項は職員間で確認している。
	⑯	支援終了後には職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	1	1	送迎対応等により当日の振り返りは出来ないが、翌日に情報共有が図られている。（勤務時間の関係で、パート職員は当日の振り返りは不可）	気付いた点などは当日に確認できなくても、情報の共有を図りながら支援していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	4	1		ケース記録を記載する中で、気付きや気になる事案がある場合は職員間で情報交換を行っており、毎月検証して改善に繋げている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	4	1			見直しの必要性を認識してから、個別支援計画を作成し直すまでに時間を要す状況があり、適宜見直しできるよう進めていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	3	2			放課後等デイサービスのガイドラインについて、職員が都度確認し理解して支援できる体制を整備していく。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	5			担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加している。	

関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	5			学校の年間計画や行事予定などは、保護者からの情報でも確認している。 感染症関連の情報共有は、学校からメール連絡を受けている。	学校迎えの際に学校での様子を確認しているが、送迎時に細かい状況までは確認できていない為、必要時には学校へ連絡し確認する。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1	4			現在は該当者がいない為、医療機関との直接的な連絡体制は無いが、必要に応じて検討していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	3	1	保育所などと直接連絡を取り合う事は少ないが、就学前の情報等は相談支援事業所を通して情報を得ている。	必要時には就学前に利用していた保育所などへ連絡し、情報を得ながら支援していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	5	4	1		卒業時の担当者会議での情報共有の他、障害福祉サービス事業所などから依頼があれば情報提供している。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	3			発達障害や自閉症などの研修に参加する等しているが、近年は感染症の影響で研修機会が減少している。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	3	2		秋田市障がい者総合支援協議会の児童部会委員として、協議会開催時は参加している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	5			送迎時、利用者の状況に応じてどのような対応を行っているか、対応によりどのような様子であるか等、情報提供する事で共通理解を図っている。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	3			保護者からの相談に対しての助言は実施しているが「ペアレントトレーニング」等の支援には至っていない。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	3	2		利用契約時に重要事項などについては書面で説明した上で、必要があれば都度説明している。	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	5			連絡帳や送迎時の相談対応の他、面談を行う中で家庭や事業所内での様子を伝え合い、生活の中で身につけて欲しいことなどを確認している。	
	㉛	子どもや保護者からの苦情・意見について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	1		苦情や要望には速やかに対応しており、記録として残している。 苦情受付窓口等を玄関に掲示している。	
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	4	1		広報として「ぱんだ通信」の年４回の発行や、保護者との連絡帳を活用して発信している。	
	㉝	個人情報に十分注意しているか	5	4	1		ホームページや広報誌への写真の掲載や、利用者個々の作品展示など、利用契約時に意向を確認した上で対応している。	支援中の職員間での情報交換において、周囲の利用者への配慮など、個人情報の取り扱いには十分注意していく。
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	4	1		連絡帳や送迎時に保護者の意向や情報共有に配慮している。	
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		4	1	コロナ禍のため行事への招待は出来ないが、ハロウィン時期にお菓子を配るなどしている。	地域との関係性は薄いが、ボランティアの受入などにより開かれた運営に努めていく。
非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3	2		感染症対応については、変更事項も含めて職員や保護者へ紙面で都度示している。	
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	5		4	1		定期的な訓練実施とはなっておらず、非常災害時の対応について見直しを図りながら体制を整備していく。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	4	1		虐待の報道などがあった際に、新聞記事などを職員間で確認しながら注意喚起している。	
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5	5			現在、身体拘束が必要な利用者はいないが、必要時には保護者への十分な説明と同意を得た上で実施する。	
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	5			おやつや昼食（外注弁当）など、保護者から確認したアレルギー表に基づいて対応している。	
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	4	1		当日不在の職員も状況が把握できるよう、ヒヤリハット報告書を作成し共有している。（他事業所の事例等も情報共有し参考にしている）	
評価全体の平均値			平均回答数 5.0	平均回答数 3.6	平均回答数 1.3	平均回答数 0.1		